

平成 30 年度第 3 回 HOT21 観光プラン推進委員会結果概要

日 時	平成 31 年 2 月 25 日 (月) 14 : 00 ~ 15 : 40
場 所	箱根町役場本庁舎 4 階会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ●箱根町 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山口町長 (委員長) ・ 吉田企画観光部長 ●町議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総務企画観光常任委員長 山田議員 ●箱根DMO (一般財団法人箱根町観光協会) <ul style="list-style-type: none"> ・ 高橋専務理事 (勝保理事長代理) ●箱根温泉旅館ホテル協同組合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 杉山副理事長 ●小田原箱根商工会議所箱根支部 <ul style="list-style-type: none"> ・ 田村副支部長 ●小田原箱根商工会議所箱根支部青年部 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中嶋理事 ●箱根町商店連絡協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 迹見会長 ●箱根湯本芸能組合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 竹澤理事 (館組合長代理) ●小田急箱根ホールディングス(株) <ul style="list-style-type: none"> ・ 室橋営業統括部長 ●伊豆箱根鉄道(株) <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐藤観光事業部長 ●神奈川県タクシー協会小田原支部 <ul style="list-style-type: none"> ・ 曾我支部長
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> ●環境省関東地方環境事務所富士箱根伊豆国立公園管理事務所 <ul style="list-style-type: none"> ・ 石川所長 ●神奈川県県西地域県政総合センター <ul style="list-style-type: none"> ・ 角田商工観光課長 ●神奈川県県西土木事務所小田原土木センター <ul style="list-style-type: none"> ・ 山際道路維持課長 ●神奈川県自然環境保全センター箱根出張所 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山中出張所長
欠席者	<ul style="list-style-type: none"> ●町議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光振興議員連盟会長 石川副議長 ●一般財団法人箱根町観光協会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 太田誘客宣伝委員長 ●箱根温泉旅館ホテル協同組合青年部 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福住副部長 ●箱根物産寄木工芸協同組合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 石川理事長 ●箱根コンベンションビューロー <ul style="list-style-type: none"> ・ 鴻野理事長

事務局等	石川観光課長（事務局長）、関田副課長、武藤観光係長、箱根 DMO 佐藤・渡辺、(株)JTB 総合研究所 河野主席研究員、(株)JTB 仕入企画部 近藤地域統括部長
------	---

(概要)

石川事務局長により、出席者の紹介及び資料の確認等を行った後、別紙次第に則り議事が進められた（進行：山口委員長）。

■議 題

(1) HOT21 観光プラン基本計画に係る目標設定について（資料 1）

《事務局説明要旨》

- ・ HOT21 観光プランに係る目標設定については、前回会議時（10 月 12 日）に、箱根DMOからHOT21 観光プラン推進委員会に対して、「観光戦略」と「将来目標値」が提言され、これらの内容を承認・決定した経過がある。
- ・ この決定を踏まえ、本年 2 月 6 日付けで「町として正式に目標設定」をし、先般 13 日に開催された「議会全員協議会」においてその内容を報告し、ご了承いただいた。
- ・ その内容は、過日 10/12 に「箱根DMO」から説明した内容の要旨として「(2) 箱根観光の現状とその要因、それらを踏まえた来訪者予測」、「(3) 緻密なマーケティング調査、分析に基づく、国内外それぞれのターゲットと観光戦略」、そしてそれらの内容を踏まえて設定した「(4) 将来目標値 (KPI)」となっている。
- ・ これらの将来目標値 (KPI) を達成するための「打ち手」を盛り込む「実施計画」については、平成 31 年度に策定する予定としている。
- ・ 本日報告した「目標設定」の内容を反映させた「HOT21 観光プラン冊子（＝別冊）」は作成でき次第、後日皆様方に配付させていただく。

結 論

HOT21 観光プランに係る目標設定について、町として「正式に目標設定」をし、「議会全員協議会」において了承いただいたことを報告した。

(2) 平成 31 年度における実施計画の策定スケジュール等について（資料 2）

《事務局説明要旨》

- ・ 新年度にHOT21 観光プランの「実施計画」を策定することとしている。
- ・ この実施計画の策定業務については、次の理由から「箱根DMO」へ委託する予定としている。
 - ① 観光戦略、将来目標値を定めるにあたって、緻密なマーケティング調査と分析から箱根観光の現状分析を行ったうえで今後の予測を立て、論理的に積み上げて目標値を導き出したのは、この「箱根DMOに他ならない」こと
 - ② 実施計画には、この将来目標値を達成するための「具体的な打ち手」を盛り込んでいくこととなるわけですので、その検討にあたっては「箱根DMOが検討主体となるべきである」と判断できること
- ・ 策定までの「スケジュール感」としては、パブコメなどの必要な手続きを経て「12月中」の策定を目指していきたいと考えている。
- ・ 当委員会の関わりとして、会議は「4回程度」の開催を想定。会議と会議の間においては、箱根DMOが検討主体となり、考え方あるいは方向性などを取りまとめたうえで当委員会へ提示していただく。

- ・ その提示された内容について議論したうえで、「最終的な内容承認＝計画の策定」という、委員会設置要綱第3条（所掌事務）に明確に位置づけられている重要な役割を担っていただくこととなる。
- ・ この実施計画については早目に策定、公表する考え。そのメリットとして、早目に公表できればその分早く「民、官、地域」における取組みの検討、実施が促されることが期待できることから、可能な限り早期の策定を目指すものである。

【主な意見等の要旨】

[委員等]

- ・ 実施計画の目標年度はどう考えているのか。
 - 基本計画の目標年度は2027年度と設定している。ここに掲げた基本構想に基づく実施計画ということであるので、目標年度はこれと整合するよう2027年度となる。
 - なお、当然のことながら、数年ごとに見直しを実施していく予定である。

結 論

平成31年度における実施計画の策定スケジュール等の考え方について了承された。

《委員長からの補足説明・依頼》

事務局からの説明にもあったが、この実施計画については可能な限り早期に策定していきたいと考えているので、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いしたい。

(3) 今後の国際的イベント（2020東京オリンピック・パラリンピック等）の箱根への影響について（資料3）

《事務局説明要旨》

- ・ 本年のラグビーワールドカップをはじめとし、来年の東京オリンピック・パラリンピックなど、国際的な、大きなイベントが日本を舞台に開催される。
- ・ 資料は、委員会事務局の補助として参画している「JTB総研」が作成したものであり、主席研究員河野氏から内容説明後、皆さんと意見交換などをさせていただきたい。

【主な意見等の要旨】

[委員等]

- ・ 日本に来たついでに商談しようと考えている海外スポンサーも数多くあるようだ。船を貸し切ったの商談などの要望もあるように聞いている。こういった情報を収集していくことが必要ではないか。
- ・ オリンピック期間中の訪日外国人客数の予測数字などは出ていないのか。
- ・ 7月、8月なので夏休み、お盆と重なるので大混雑となることが懸念される。
- ・ 外国人客の予約は大分早く入るので、国内客の取り込み、確保も難しい状況となるのではないか。
- ・ 箱根から見ると、オリンピックは他の時期に開催してもらいたいというのが本音ではある。

- ・ ラグビー、オリパラなどのイベントを箱根としてどのように迎えるべきなのか。外国人へ箱根を売り込む良いチャンスだと思う。これまで箱根はこうしたことに対処してこなかったのだと思う。町として無策ではいけないので、HOT21の中で加味しながら、大いに議論していくべきだと思う。
- ・ 大会期間中、テレビの視聴量は開催前よりも増加するというデータは興味深い。日本人の国内移動は少なくなるのではという懸念は持っている。
- ・ 神奈川県も力を入れている取組みでナイトライフエコノミーがあり、やはり昼間だけでなく、夜も楽しめる箱根町にして、様々なサービスを提供していかなければならないと思っている。
- ・ 間近に迫ったラグビーもオリパラも、一つの通過点、踏み台として今後の展開を考えていくべきである。
- ・ 国際旅客税も新たに導入されており、国や県の動きを的確にキャッチすべきである。それぞれの関係機関・団体らが何をしていくべきなのか。情報を集め、中長期を見据えながら、大きな視点で考えていかなければならないと思う。
- ・ アンテナを張って、町とDMOが連携しながら国県補助金獲得に努めてもらいたい。

[事務局等]

- ・ ラグビーワールドカップへの関心、盛り上がりについては、東北地方ではあまり高くないという肌感である。
- ・ 海外から見た日本は食や安全面で注目されることが多い。
- ・ 外国人客は予約の動きが早い分、キャンセルのリスクも高いと言える。

[委員長]

- ・ 前回の東京オリンピックの際、箱根では特段オリンピック景気などというものは無かったと思う。
- ・ オリパラの開催後、現時点では2025年の大阪万博開催が決まっているものの、アフターオリンピックが問題である。
- ・ 一つのイベントの成否ではなく、長期的な視点で考えていくべきである。

《委員長からの補足説明・依頼》

本日いただいた意見は今後策定していく実施計画の中に反映できる部分は可能な限り反映していきたいと考えている。各委員それぞれの立場において、より一層のご協力について、どうぞよろしくお願いしたい。

(4) その他

- ① 箱根観光カンファレンス（3/11）について（チラシ参照）
- ② （改元に伴う）ゴールデンウィーク（10連休）の動向等について（資料4）
改元に伴い今年のゴールデンウィークは10連休となり、日本全体で観光面へ大きな影響があると言われている。現時点で把握している動向について、JTBの近藤地域統括部長よりトピックスとして情報提供。

③ 会議概要の公表

HOT21 観光プラン推進委員会設置要綱第 10 条の規定に基づき、会議終了後、速やかに結果をとりまとめ、発言者の氏名は伏せて、会議資料とともにホームページにおいて公表していくことを確認。

④ 次年度第 1 回会議の開催日程調整の報告

次回会議は、4 月下旬頃に開催予定。日程は後日皆様に照会し、可能な限り調整をしたうえで決める旨を確認。